

旧常盤小学校の跡活用について

1 札幌市における小学校跡活用の取組について

- ・小学校が統合等により閉校となった場合は、地域の実情に応じて地域コミュニティの拠点機能の確保に配慮し、跡活用の取組を進めている。
- ・札幌市の公共的な施設としての利用が見込まれない場合は、地域の意向を踏まえた売却条件を設定し、公募提案型売却を行う。

2 旧常盤小学校の公募提案型売却について

(1) 施設概要

- ・所在地 札幌市南区常盤6条2丁目
- ・敷地面積 16,294m²
- ・延床面積 5,899.44m²
- ・建築年 平成2年（1990年）
- ・閉校年 令和3年（2021年）3月

(2) 主な公募条件

- ・地域貢献活動に関する条件
 - 【条件①】地域コミュニティの維持・向上につながる場
 - 【条件②】緊急時の避難場所
- ・最低売却価格
 - 22,200,000円（税抜）

(3) 公募提案型売却の経緯

- ・令和3年(2021年)7月～9月 1回目の募集 応募なし
- ・令和4年(2022年)12月
～令和5年(2023年)2月 2回目の募集 3者応募、選定に至らず
- ・令和7年(2025年)2月～3月 3回目の募集 5者応募、4者ヒアリング審査
- ・5月20日 審査委員会で最優秀提案者、次点提案者を選定
【最優秀】グローバル・インディアン・エデュケーション社
(以下、グローバル社)
- ・6月17日 グローバル社を優先交渉権者に決定
※次点交渉権者も同時に決定。社名・事業内容は非公表
- ・7月29日 芸術の森地区学校跡活用検討会議
- ・8月29日 ニュースレターレポート 審査結果報告と説明会開催周知
- ・9月27日 地域説明会の実施(グローバル社主催)

3 優先交渉権者の事業計画等について

(1) 事業計画および事業主体

- ・ ワン・ワールド・インターナショナル・スクール札幌キャンパスを開校予定
- ・ グローバル社（本店：東京都）
 - 日本でインターナショナルスクールの運営等を行う法人
 - 現在、国内で6つのキャンパスを運営

[参考]

グローバル・スクールズ・グループ（本部：シンガポール）が母体

- 世界11か国で12ブランドのインターナショナルスクールを展開
- 全64キャンパスに約4万5千人の生徒が在籍

(2) 対象の児童生徒とカリキュラム

- ・ 未就学児と小学校1年生から高校3年生に相当する学年の児童生徒を対象
- ・ 日本人を含む多様な国籍の児童生徒を受け入れる予定
- ・ 國際的に高い評価を受けているカリキュラムを採用予定

(3) 運営計画（定員・教職員・通学方法）

項目	計画内容
生徒数	初年度：50名程度（将来的な最大定員は650名を予定）
教職員 体制	当初：15名程度（生徒増に応じて段階的に増員） ※多国籍の教員を採用しつつ、日本語対応可能な教職員が常駐
通学方法	スクールバス（当初2台）および保護者の自家用車送迎が中心

(4) 地域貢献活動と地域連携・協力

- ・ 地域への施設開放とイベント開催
- ・ 繙続的な対話の仕組みづくり